

西公民館だより

2018年8月
発行 西公民館
西町1丁目19-2
Tel925-0442

盆踊り大会が盛大に開催されました！

◆8月5日(日)19時から西小学校の校庭で盆踊り大会が盛大に開かれました。1200人余りの参加者でした。盆踊り会場に入る通路には、この1年間で亡くなられた故人をしのび、ご供養をするために、灯籠に灯を点していました。その灯籠には西幼稚園・西保育所・紅葉保育所の園児達が描いた微笑ましい絵が出迎えてくれました。



【沢山の参加者たち】



【50個の灯籠の道しるべ】

◆盆踊りは沼隈地方に昔から伝承されている大和踊り・備中踊り・大黒踊り・村々づくしの音頭を佐波伝統芸能保存会の皆様にとって頂きました。西女性会の「ゆかた音頭」や西幼稚園の園児の「新福山音頭」もありました◆西学区子ども太鼓の皆も一生懸命太鼓を打ちました。



【委員長開会の挨拶】



【鼓情太鼓の勇奏な調べ】



【佐波芸能保存会の皆さま】



【西幼稚園の親子の踊り】



【子ども有志の太鼓演奏】



【PTA等の夜店の賑わい】

◆お楽しみに踊りの参加者には景品が配られました。何よりの楽しみは西小PTAやすすかけ会などの夜店が夜遅くまで開かれたことでした。西学区の皆様が出会い・ふれ合い・語り合う、絶好の夏の夜の風物詩でした。



* ばら花壇を整備しました! *

◆6月9日(土)9時半から11時までふれあい広場のばら花壇を綺麗にしました。小林さん、森元さんが花壇の草取り、岸守さんがツリーハウスの清掃。持倉さんは枯れたばらの植え替えをされました

◆今回一番の作業は「つるばらのアーチのコンクリート打ち」でした。アーチの根元をコンクリートで打ち固めるのに持倉さんと岸守さんがして下さいました。

◆暑い日の作業で、主事さんが接待の冷たいお茶は最高においしかったです。

◆四季ごとに美しいばらが咲きほこるのも陰で支えて下さるボランティアのお力だと感謝しております。



* ばらづくり*『ばら講習会』

◆6月25日(月)午前10時、西公民館実習室で参加者12名がばら指導者立石さんを講師に「ばら講習会」受けました。挿し木をしてばらを簡単に増やす手軽な方法を教えてもらいました。手順は①さし穂の準備…5枚葉3枚つけた枝の準備。②芽が土に入る深さに挿し木する。③土は養分のない真砂土を使い、土が乾いたら水やり、1週間は日陰にその後は半日陰に。1ヶ月で根が出る、鉢底から白根が出たら移植する。



【5枚葉を3枚つけて…】



【挿し木作りは難しい】

~子ども見守りボランティア交流会~

◆6月26日(火)西公民館会議室で文化部会による子ども見守りボランティア交流会がありました。各町内会の会長・ボランティア・子ども会育成・西小学校校長・教頭・PTA・まちづくり役員等54名の参加でした。



【ボランティアの皆さん】

◆小畠校長より見守りの感謝の言葉、そして各町内会とPTAの取り組みの報告があり、意見交換をしました。高齢化で中止になったり、新たに22名の見守りを始めた西堀端の事例もありました。今後も子ども・学校・保護者・ボランティアの4者が結束しようと確認されました。



【往復1時間の見守りしてます】

~協和会町内会「百歳体操」取材~

◆7月4日(水)朝10時、協和会町内会館に取材に出かけました。町内会の常連さんが20名集まって、椅子に腰かけDVDを見ながら体の部位をゆっくりとしたストレッチ体操で高齢者には最適な運動といえます。唐突取材で、皆さんびっくり。



【わしは百まで頑張るぞ!】

しかし笑顔で受入れて下さいました。この雰囲気は協和会の魅力なんだなと感心しました◆40分体操をして、百歳体操が3年経過したので表彰式をされました。これがまた面白い趣向。一人一人ユーモアたっぷりの言葉を散りばめた「表彰状」を授与する時は全員が抱腹絶倒していました。最後はお茶とお菓子で楽しいひと時を過ごされました。



【抱腹絶倒の表彰式】

『初めての手話講座』開かれる

◆6月7日(木)の10時から西公民館で総務部会担当の「初めての手話講座」が開かれました。講師にろうあ協会の門田さんと手話通訳の平盛さんが出講されました。『聞こえないってどんなこと』と題して、①「聴覚障害とは」②「私の体験」③DVD「私の大切な家族」④「簡単な手話を覚えましょう」とお話し下さいました。終りには27人全員で手話で拍手(両手を上に、手の平を裏・表と繰り返す)して喜びを表しました。西小学校に難聴学級、公民館隣にろうあ協会があります。普段から聴覚障害の皆さんと手話や筆談で交流していきましょう。



【手話は体で表現する言葉】

~紙芝居のはじまり、はじまり~

◆7月17日(火)の3時から西小学校の図書室で放課後子ども教室の講座として紙芝居を上演しました。14人の可愛い子ども達が集まりました。始めと終りに歌をうたって紙芝居を2つ見て、クイズをして、楽しい一時を過ごしました。紙芝居を見て、お話を聞いて、子どもの心はいやされてやわらかくなりました。



【人を救う話の紙芝居】



【二十八の瞳の子ども達】

《西学区自主防災協議会の活動》

7月当初より大雨が天気予報で報じられておりましたが、今まで経験もしなかった災害に見舞われました。被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。

この度の「西日本豪雨」災害で、西学区自主防が初めて災害対策本部を設置し、被災地へ災害ボランティアを派遣出来たことは、西学区自主防として今までの反省を生かした訓練の成果が初めて生かされたと思います。役員・会員の皆様のご努力に心よりお礼を申し上げます。

この体験を今後の反省の糧になるよう「西学区自主防」の今までの取り組みと、災害ボランティアを派遣するまでの経緯を記録に残すことに致しました。

今後とも一致団結して自主防を実のあるものにすべく精進してまいります。

西学区自主防災協議会会長 金藤昭司

「ハザードマップ説明会」開かれる

5月12日(土)19:00 西公民館会議室で「ハザードマップ説明会」を開きました。防災に関心の深い参加者75名は90分熱心に講義を受けられました。

- ①「防災ガイドブックの内容と役割」を福山防災リーダー協議会会長の青木秀明さん(丸之内町内会)より防災の基本として「災害は全てを防げない、ハザードマップ(災害危険予測地図)で危険を知り、逃げ道を確保、いざという時助かった者同士が助け合って災害からにげてほしい」と話された。
- ②「ハザードマップの読み書き方」を西学区のハザードマップの生みの親である福山防災リーダーの近藤俊一さん(池之淵町内会長)がこの4月に作って西学区全世帯4,682世帯に配布した5種類のマップを説明されました。マップの目的は危険場所を把握し、逃げ道を考え防災に役立てること、地震・津波・洪水・土砂災害等々、慌てず落ち着いて行動すれば心配ないと言われました。
- ③「防災と建物の耐震構造」について、このマップを全世帯分16,000枚印刷し貰った福山防災リーダーの甲斐亮至さん(神島町内会)より建築設計技師の立場から建物の耐震構造の問題について話されました。講師の皆さん、学区の安全を願って熱心に講義して下さいました。

被災地視察学習会で防災の大切さを学びました

6月3日(日)10時佐波公園に57名集結して、被災地から防災を学びました。佐波では昭和42年溜池決壊の水害については松浦さん、平成28年6月の瀬戸川の水害は中川さんから説明を聞きました。決壊した溜池、水害の水位、床上浸水の傷跡の家など案内をしてもらいました。その後、佐波の第一ポンプ場で西迫さんから50年使っているポンプの話や大水の時は三日三晩も徹夜で勤める話を聞きました。神島では畑前会長さんから平成28年6月の水害の事を詳しく聞くことが出来ました。今回被災地に行って被災の現実・人々の悲しみを自分たちも肌で感じる事が出来ました。



【溜池で松浦さんの説明】



【50年間、有難う！】

西学区自主防 すばやく動く !!

■7月5日(木)朝から雨。全市に大雨警報と避難準備の発令が出る。西学区自主防事務局(公民館)に詰める。

■7月6日(金)朝から雨。毎回洪水被害にあう、佐波と神島の町内会長に情報を伝えてほしいと電話する。

13:15 西小学校一斉下校。

21:00 避難勧告、

21:50 避難指示の発令。

23:20 ついに**西学区自主防動く!**、30分以内に災害対策本部役員10名集まる。

23:40 芦田川氾濫危険情報発令。佐波・神島へ電話、避難誘導を伝え被害情報を聞く。道路が水没し出られない、2年前より状況は悪化と連絡有り。そこで西消防団に消防車で避難誘導の放送を依頼する。「外に出られない人は、2階に上がって下さい(垂直避難)」と。2ヶ所の佐波ポンプ場では6名の係員が今日から徹夜で3日間詰めて仕事。西消防団10名の団員、水没した佐波の入り口道路で警戒中だった。消防団員へ炊き出しを配る。

■7月7日(土)

0:50 対策本部は3班に分かれて情報収集に出かけ電話通りの情報を現地で見て回り、公民館へ帰る。

2:00 全員一時解散、自宅待機とする。

6:00 朝から雨。特別警報(大雨)発令中。1組の夫婦が公民館へ避難。神島は避難者が町内の公民館へ。学区から非常食・毛布を配る。

9:00 近況報告、ブロック塀の倒壊・山の土砂崩れ・床下浸水6戸・床上浸水10戸・近大へ避難者5名。

10:00 大雨小康状態になる。

10:20 「第1ポンプ場 ポンプ2台 止まる」これは河川の水が床下から浸水して電気を止めた、とのこと。

13:00 今後の災害復旧活動としての災害ボランティア活動(後片付け作業)を委員長・会長・事務局長で急ぎよ決める。皆帰宅し待機。

16:00 災害ボランティアの募集作業をする。

*7月8日(日)10:00 佐波公園集合、被災状況を視察、後片付け作業に従事する。

*募集依頼は

①自主防会長が各町内会長へ電話で声かけする。

②情報部会長は募集の一斉メール配信をする。

③事務局(公民館)は依頼文書を作り、各町内会長へ配る。

20:00 各町内会長からボランティア数の連絡が公民館へ入る、20名参加申込みあり。



【やがて、満水になる芦田川】



【浸水した民家の広場】



【駆け付けた対策本部役員】



【警戒中の西消防団】



【佐波ポンプ場を守る真の男たち】

**以上が、西学区災害対策本部を立ち上げて、
「災害ボランティア」による災害復旧活動
に至る、経緯である。**

～西学区 災害ボランティア結集する！～

- 8:00 7月8日(日)朝から小雨。全市に大雨警報の発令が出る。今日の「西学区災害ボランティア活動」は、金藤会長の「天候はどうであれ被災地へ素早く行くのが防災の心だ」の一言で決行。
- 10:00 佐波公園を結集の会場に、前日各町内会長が町内の人々に声を掛けた災害ボランティアが雨の中58名も結集した。まず、金藤会長・徳山委員長が挨拶、井上町内会長・松浦さんが災害の様子を詳しく話した。次に、浸水の被害に会われた家の後片付けは、地元の佐波の多くの男性が手分けをして作業した。地域外のボランティアは災害の状況を視察した。
- * 山肌がむき出して大雨の時は滝のように水が落ちる山の法面。
 - * 土石流が起きかねない谷川。
 - * 無住住宅のブロック塀が倒壊した現場。
 - * 山肌が崩れ土砂が道路をふさいだ現場。
 - * 地域の人たちの避難場所、近大高校6号館。
 - * 大洪水でいつも床上浸水をする家屋。
- それらを見て大自然の猛威の恐ろしさに身震いした。最後に佐波公民館で一服して、神島町へ向かった。
- 11:00 神島町の第1ポンプ場横で神島町内会畑前会長の挨拶とボランティア活動(復旧作業・後始末)の内容と作業チームの班分けについての説明があった。1班5名ずつ8グループに分けて、ゴミ袋・土のう袋・雑巾を持って、作業するお家へ向かった。
- * どの家も人の腰を超えるぐらいまで浸水して水をかぶり、手の付けられない有様。家の人や親戚・友人・近所の人が朝から片付けに来ていた。
 - * ボランティアは濡れてもいい服装・帽子・長靴・軍手・水筒に身を包み、ゴミ出し、ソファ・冷蔵庫・布団・タンスなどを手際よく外に出した。必要なものと不要なものは家の方に聞きながら作業を進めた。
 - * ゴミは11台のトラックに積んで箕沖クリーンセンターまで運んだ。
 - * 家の中の泥をスコップで取り除き、水を流して綺麗にした。
- 13:30 あらかた片付くと、当家の人は「後は自分たちでします」と言われたが、「今日は大勢で来てるから心配いらんよ」と言って最後まで続けた。大量のゴミは手配済みのトラックにみんなに乗せてあっという間に済んだ。終りにお家の方々にお見舞いと励ましの挨拶を言ってお別れした。
- 全員が終わるのを待って、神島神社で閉会をした。金藤会長の心のこもったボランティアへの挨拶と畑前町内会長のお礼の挨拶を受け、ボランティアの皆さんに炊き出しをした。西学区自主防が始まって以来のボランティア活動で、皆は喜びの内に解散帰宅した。



同じ西学区の仲間が、悲しみを共に出来たことはこの上な

佐波・神島地域大雨災害ボランティア活動

2018-7月8日



【佐波町公園でボランティア活動にあたっての注意事項】



【佐波町には急傾斜地が所々にあります】



【山肌が崩れています】



→水のあと

【佐波町公民館では半地下倉庫が水没】



【水を含んだ土砂でブロック塀も倒壊しました】



【佐波町では≒20cm、床上まで浸水しました】



【神島ポンプ場もポンプ室が≒40cm浸水しエンジンが一時ダウンしました】



【国交省のポンプ車は福島から応援に来ていました】



【ボランティアからトラックの協力がありました。ありがとうございました】



【箕沖町のグリーンセンターへ運びました】



【搬出するものはまだトラックに残ってますが、ひとまずお疲れ様でした】

『町内会長の団結が、まちづくりの起爆剤！』 西学区町連会長 金藤昭司

西学区町連の会長に就いて1年半が過ぎました。学区全体をみるならば西学区は市の中心部にありますが、夜は人口が約 60%に減り、空き家が増えて殆ど駐車場に変わります。国道は学区を南北に二分し、芦田川は東西を二分しています。交通量は多く商業施設とマンションの林立です。

その中で西学区では、各町内会ごとに町内会長を中心に頑張っておられる姿を力強く感じます。たとえば西学区の多くの行事に、町内の行事をそれぞれの事情に合わせて計画し運営しておられることにそのご苦勞に感服するところです。そうした中で、町連として取り組む課題は、①福山城と駅間の歩行者天国の件(条件次第では反対)②毎年雨期になると浸水する佐波町と神島町の治水対策③高齢者と子どもたちの安全確保等があげられます。これらの問題は一町内では解決出来にくいことです。各町内会長同士が連携し団結して、さまざまな問題を解決するのが町連のあるべき姿なのだと思って、これからも頑張りたい所存です。皆様方のご理解とご協力をお願い致します。



「子どもは地域で育つ」 社会福祉法人あかつき会 紅葉保育所長 倉田秀善

紅葉保育所は、1952 年(昭和 27 年)に公立の保育所として福山市東桜町に開設されました。その後、1981 年(昭和 56 年)に現在の福山市南本庄に新築移転され、2014 年(平成 26 年)には、社会福祉法人あかつき会への移管が決まり、園舎も建て替えられた。開設当初は 80 人規模の児童数も、現在は 140 人規模の児童数の施設となっています。保育目標については、国の就学前保育・教育の指針を基底にしなが、いろいろな体験を通して、友だちを思いやる心を育てながら考える力や表現する力等を伸ばし、たくましく生きる力を育てたいと考えています。各種の行事や日々の保育活動のなかで、子どもたちの持てる力を伸ばし、心身ともにたくましい人間の育成に一層努めて参りたいと考えています。地域との関わりについても、公民館の栽培園での栽培や収穫の体験を大切に活動や地域の子育て支援活動への高齢者の参加などを通して開かれた保育・教育活動の充実を図ってまいりますので今後ともよろしくお願いたします。



「健やかに過ごせる環境づくり」 城北中学校PTA 出淵サチ

日頃より、城北中学校PTA活動におきまして、ご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。西学区の皆さまに、あたたかく支えられ、子どもたちが日々安心して生活ができることに、保護者の一人として心より感謝申し上げます。

さて、本年度も市P連のスローガン「子どもたちとともに育つPTA」を目指して中学校内清掃活動や朝の見守りあいさつ運動を実施しています。現在、校舎は建て替え工事中で、一・二年生のみプレハブ校舎での授業となっておりますが、PTA活動を通して、子どもたち全員がより健やかに過ごせる環境づくりのお手伝いをしていけたらと思っています。これからも、子どもたちの成長とともに喜びあえる楽しく充実した活動をすすめてまいりますので、よろしくお願いたします。



【社会教育事業】

コロコロパーク ~サツマイモの苗植えをしました~

【苗の植え付けのお手本】



【いつの間にか お父さん主役】



6月2日(土)の青空のもと、25組の親子連れが参加して総勢60名の皆さんが、さつまいもの苗を植えました。まず、西迫佳弘さんからさつまいもの苗(30cm3本)を植え付ける注意事項【土に穴を掘る→ 苗を垂直植えにする→ 土をかけ軽く抑える→ 根っこの周りに水鉢を作る】と聞いて、早速苗を買って植えました。最後に先生から「いつも来て、水やりと草取りをして可愛がってやって下さい」と言われ、みんなで記念写真を撮って終わりました。次は「つる返し」です。



可愛いネーム
プレート出来たよ



今度会つのは夏の
つる返しだね

■5月16日(水)朝8時から芦田川の西学区ふれあいグラウンドゴルフ場で西学区老人クラブ連合会主催の第31回グラウンドゴルフ大会が行われました。参加数は41名でした。

■成績

- | | | | |
|----|-----|------|----------|
| 女性 | 優勝 | 船元和子 | 西町北成長会 |
| | 準優勝 | 河相澄江 | 佐波白寿クラブ |
| | 第3位 | 川谷和子 | 西桜町銀嶺クラブ |
| 男性 | 優勝 | 吉山幸男 | 西桜町銀嶺クラブ |
| | 準優勝 | 北村達治 | 西町北成長会 |
| | 第3位 | 船元達義 | 西町北成長会 |

皆様 おめでとうございました。

【原稿を頂きながら掲載が遅くなりすみませんでした】

~西老連『サロン』開きました!~

■5月25日(金)朝9時から12時まで、西公民館会議室で老人クラブの「サロン」が開かれました。会場の準備と柏餅の用意で、テンやワンやで賑やかにはじまりました。ユニカールをする人々の歓声、楽しく食べる柏餅。和気あいあいの楽しい老人クラブの「サロン」でした。



【ナイス ショット!】



【皆で食べる柏餅 最高!】

【編集後記】

- ◆7月は5日から8日にかけて「西日本豪雨」に遇いました。28日・29日は台風12号の西進で再度被害を蒙るのかと心配しました。西学区内でも度重なる浸水に遇われて辛い思いをされた方も多くあり、わが身に引きかけて悲しみは深まります。
- ◆西日本豪雨で西学区自主防が6日に災害対策本部を設置し、8日に災害ボランティアを募り復旧のお手伝いをさせていただきました。その経緯をこの「西公民館だより」に詳しく載せております。
- ◆6日深夜12時前に対策本部の設置で電話召集すると、すぐに役員が集まり、現場へ情報収集に走り回って下さいました。何より驚いたことは7日夕方、金藤会長が各町内会長にボランティアの募集依頼を電話でお願いすると22時までに20名の申し出がありました。よくこんなに集まったと思いきや、翌日8日の10時には何と58名も結集して下さいました。これは今まで15年余りにわたり西学区自主防が防災訓練を積み重ねた成果だと思いました。そして地域の人々を思う多くのボランティアの方々の優しさでした。この心がある限り被災地の皆様の復旧は必ず出来ると信じています。

(西公民館長)

